

平成29年度  
北海道大学大学院理学院  
修士（博士前期）課程

自然史科学専攻  
科学コミュニケーション講座

入 学 試 験  
(専門科目)

問 題

- ◎解答用紙2枚のいずれにも受験番号と氏名、選択した問題番号を記入し、試験終了後に2枚とも提出してください。
- ◎各問題の出典となっている文献を試験中に参照することはできません。

問題 以下の8題のうちから2題を選び、それぞれ800字～1200字程度で解答しなさい。

テーマ「科学技術コミュニケーション」からの出題

1. 科学技術コミュニケーションのあり方に関して検討すべき今日的に重要な問いを何か一つ挙げ、それについて既存の知見も踏まえつつ自由に論じなさい。

テーマ「科学技術社会論」からの出題

2. 「科学の社会化」が時代や国ごとに異なった文脈で起こるものであることを、ヨーロッパ近代科学の歴史に例をとりながら、具体的に説明しなさい。

テーマ「科学哲学」からの出題

3. 頻度主義を批判した'リンドレーのパラドクス'とは、具体的にどのようなパラドクスかを説明しなさい。また、なぜ尤度主義がこのパラドクスと無関係であると言えるのかを説明しなさい。

テーマ「科学技術とリスク」からの出題

4. 「確率論的バイアス」にはどのようなものがあるか。2種類のバイアスを取り上げ、具体的な例を挙げて説明しなさい。

テーマ「博物館学」からの出題

5. 社会における博物館の存在意義について、博物館教育の観点から説明しなさい。

テーマ「博物館からの情報発信」からの出題

6. 博物館における学術映像標本の役割について、具体的な例を挙げて説明しなさい。

テーマ「高等教育」からの出題

7. 『プロフェッショナル・ディベロップメント—大学教員・TA研修の国際比較—』の記述から、北米の大学における PFF や TA 研修の概要とその意義について説明しなさい。

テーマ「科学教育」からの出題

8. Deci らが言う「自己決定 (self-determination)」について、Deci や deCharms の自己原因性や Bandura の自己効力に触れながら、具体的な意欲を引き出す指導方法を交えて述べなさい。